



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名 SCSK株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9719 URL http://www.scsk.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼CEO (氏名)中井戸 信英  
 問合せ先責任者 (役職名)主計部長 (氏名)清水 昌彦 (TEL)03(5166)2500  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	142,524	3.9	11,141	13.9	11,891	11.5	9,235	13.7
26年3月期第2四半期	137,122	2.0	9,786	5.3	10,664	3.8	8,126	△11.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 9,526百万円 (10.2%) 26年3月期第2四半期 8,642百万円 (△4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	89.01	88.43
26年3月期第2四半期	78.35	75.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	315,223	132,557	40.2
26年3月期	317,932	126,159	37.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 126,817百万円 26年3月期 120,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	25.00			
27年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	4.1	27,500	14.7	28,000	9.0	22,000	19.6	212.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	107,986,403株	26年3月期	107,986,403株
27年3月期2Q	4,222,657株	26年3月期	4,231,885株
27年3月期2Q	103,760,352株	26年3月期2Q	103,719,042株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成26年10月31日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催いたします。この説明会で配布した資料、主なQ & A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等の影響から、生産や個人消費において一部に弱い動きがみられるものの、大企業を中心とした設備投資の増加や雇用情勢の改善等を背景に、緩やかな景気回復傾向が続いておりました。

日本経済の先行きにつきましては、米国金融緩和の終了を不安視する金融市場の混乱、欧州並びに新興国経済の悪化・減速懸念等、景気失速の懸念材料はあるものの、各種経済対策による下支えや雇用・所得環境の改善等を背景に、駆け込み需要の反動も次第に和らぎ、今後も景気の回復傾向が継続していくものと考えられております。

このような経済情勢のもと、顧客企業はIT投資に対して、徐々にではあるものの積極姿勢に転じつつあり、IT投資需要は総じて堅調に推移いたしました。

業種別では、金融業においては、大手銀行における堅調なシステム開発需要や、証券業における制度変更対応等のシステム更新需要等により、システム投資は概ね堅調に推移しました。

製造業においては、生産・販売活動の強化やグローバル化対応等、戦略的なIT投資の検討を進める顧客企業が増加しており、現時点では一部に慎重な検討姿勢も見られるものの、今後はより幅広い製造業顧客においてIT投資の本格化が進んでいくものと期待されます。

また、新規のIT投資に加え既存のITインフラの再構築を検討する企業も増加しており、一層の業務効率化・生産性向上を目的としたクラウド型ITインフラサービスの需要が、データセンターサービスの利用ニーズとともに拡大しております。

ITサービス市場の今後につきましては、技術者の人材不足が業界全体の成長課題として認識されつつあるものの、金融機関や官公庁関連での大型のシステム開発需要、並びに、クラウドサービスの浸透やビッグデータ活用のニーズ拡大に伴う新システム投資需要等をけん引役として、日本企業のIT投資は全般的に拡大基調を続けるものと期待されております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、製造業・金融業・通信業顧客を中心とするIT需要の高まりを背景に前年同期比3.9%増の142,524百万円となりました。営業利益は、増収に伴う増益に加えて業務効率化に伴う利益率向上等もあり、前年同期比13.9%増の11,141百万円となりました。経常利益及び四半期純利益は、営業増益等により、各々前年同期比11.5%増の11,891百万円及び同13.7%増の9,235百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ10,270百万円増加し、69,275百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は11,582百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益11,211百万円、減価償却費3,332百万円、売上債権の減少による資金の増加8,831百万円によるものであります。主な減少要因は、たな卸資産の増加による資金の減少1,219百万円、仕入債務の減少による資金の減少4,292百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は3,676百万円となりました。

主な増加要因は、預け金の払戻10,000百万円によるものであります。主な減少要因は、有形固定資産の取得5,090百万円、無形固定資産の取得1,161百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は4,994百万円となりました。

主な減少要因は、長短借入金の返済による資金の減少(純額)2,000百万円、平成26年3月期期末配当金(1株当たり20円)2,079百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は概ね予想の範囲内であり、平成26年4月30日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を単一割引率から複数の割引率(イールドカーブ)へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が1,680百万円減少し、利益剰余金が964百万円減少しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,156	27,016
受取手形及び売掛金	63,372	54,640
有価証券	1,101	1,000
営業投資有価証券	40,372	43,020
商品及び製品	2,459	4,216
仕掛品	1,757	1,238
原材料及び貯蔵品	28	27
預け金	58,864	52,102
その他	23,814	22,453
貸倒引当金	△30	△29
流動資産合計	210,896	205,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,194	24,338
土地	20,681	20,681
その他(純額)	11,311	15,396
有形固定資産合計	57,187	60,416
無形固定資産		
のれん	251	210
その他	6,964	7,004
無形固定資産合計	7,216	7,215
投資その他の資産		
投資有価証券	8,313	8,349
その他	34,571	33,797
貸倒引当金	△252	△243
投資その他の資産合計	42,632	41,903
固定資産合計	107,036	109,535
資産合計	317,932	315,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,644	15,465
短期借入金	17,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	—	10,000
未払法人税等	2,471	1,486
賞与引当金	7,492	6,841
役員賞与引当金	121	47
工事損失引当金	78	166
カード預り金	70,647	71,827
その他	28,069	26,612
流動負債合計	145,524	142,447
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,000	15,000
役員退職慰労引当金	29	24
退職給付に係る負債	192	180
資産除去債務	1,508	1,583
その他	4,517	3,431
固定負債合計	46,248	40,219
負債合計	191,773	182,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,152	21,152
資本剰余金	3,061	3,059
利益剰余金	101,176	107,368
自己株式	△8,510	△8,494
株主資本合計	116,880	123,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,129	1,268
繰延ヘッジ損益	△0	58
為替換算調整勘定	△57	△24
退職給付に係る調整累計額	2,537	2,428
その他の包括利益累計額合計	3,608	3,730
新株予約権	135	128
少数株主持分	5,535	5,611
純資産合計	126,159	132,557
負債純資産合計	317,932	315,223



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	137,122	142,524
売上原価	105,178	109,080
売上総利益	31,944	33,443
販売費及び一般管理費	22,157	22,301
営業利益	9,786	11,141
営業外収益		
受取利息	123	54
受取配当金	29	32
持分法による投資利益	151	176
投資有価証券売却益	289	0
カード退蔵益	516	628
その他	299	164
営業外収益合計	1,411	1,057
営業外費用		
支払利息	188	116
退職給付費用	130	130
その他	213	60
営業外費用合計	532	307
経常利益	10,664	11,891
特別利益		
固定資産売却益	3	2
関係会社株式売却益	0	—
会員権売却益	12	—
新株予約権戻入益	—	3
特別利益合計	16	5
特別損失		
固定資産除却損	29	163
固定資産売却損	2	0
関係会社株式評価損	348	—
事業撤退損失	377	—
移転関連費用	372	—
和解損失	—	409
支払補償金	—	111
特別損失合計	1,130	685
税金等調整前四半期純利益	9,550	11,211
法人税、住民税及び事業税	1,143	1,136
法人税等調整額	177	657
法人税等合計	1,321	1,794
少数株主損益調整前四半期純利益	8,229	9,417
少数株主利益	103	181
四半期純利益	8,126	9,235

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,229	9,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	137
繰延ヘッジ損益	8	58
為替換算調整勘定	183	34
退職給付に係る調整額	—	△121
持分変動差額	5	—
持分法適用会社に対する持分相当額	12	0
その他の包括利益合計	413	108
四半期包括利益	8,642	9,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,533	9,356
少数株主に係る四半期包括利益	109	169

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,550	11,211
減価償却費	3,420	3,332
のれん償却額	50	46
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△111	△10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△678	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	28
前払年金費用の増減額(△は増加)	530	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△553
固定資産除却損	29	163
固定資産売却損益(△は益)	△0	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	67	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△289	△0
関係会社株式評価損	348	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△0	—
持分法による投資損益(△は益)	△151	△176
受取利息及び受取配当金	△153	△87
支払利息及び社債利息	188	116
投資事業組合運用損益(△は益)	△109	△50
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△2,339	△2,686
売上債権の増減額(△は増加)	10,219	8,831
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,082	△1,219
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,241	△4,292
カード預り金の増減額(△は減少)	1,264	1,180
役員賞与の支払額	△123	△139
その他	732	△1,770
小計	17,120	13,923
利息及び配当金の受取額	309	165
利息の支払額	△190	△116
支払補償金の支払額	—	△296
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△280	△2,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,958	11,582

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預け金の預入による支出	—	△325
預け金の払戻による収入	—	10,000
有価証券の取得による支出	△1,999	△1,600
有価証券の売却及び償還による収入	1,728	1,400
有形固定資産の取得による支出	△1,679	△5,090
有形固定資産の売却による収入	6	9
無形固定資産の取得による支出	△756	△1,161
投資有価証券の取得による支出	△140	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	825	0
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	421
短期貸付金の回収による収入	1	2
投資事業組合出資金の払戻による収入	431	136
敷金及び保証金の差入による支出	△423	△173
敷金及び保証金の回収による収入	98	185
資産除去債務の履行による支出	△14	—
その他	81	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,841	3,676
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	17,000	7,500
短期借入金の返済による支出	—	△14,500
長期借入れによる収入	—	5,000
長期借入金の返済による支出	△5,000	—
社債の償還による支出	△35,000	—
リース債務の返済による支出	△937	△813
自己株式の取得による支出	△10	△7
自己株式の売却による収入	75	17
配当金の支払額	△1,870	△2,079
少数株主への配当金の支払額	△58	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,801	△4,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	154	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,529	10,270
現金及び現金同等物の期首残高	83,247	59,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,718	69,275

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業システム	金融システム	グローバル システム	ソリューション ソリューション	ビジネス サービス	IT マネジメント	プラット フォーム ソリューション	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	33,478	26,664	6,494	8,182	15,351	18,308	26,780	1,467
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	873	173	1,268	818	770	4,429	2,807	48
計	34,351	26,837	7,762	9,001	16,122	22,738	29,588	1,516
セグメント利益	2,148	2,419	1,028	741	683	1,592	1,463	93

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	393	137,122	—	137,122
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,331	12,520	△12,520	—
計	1,725	149,643	△12,520	137,122
セグメント利益	92	10,263	△476	9,786

(注) 1 セグメント利益の調整額△476百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業システム	金融システム	グローバル システム	ソリューション	ビジネス サービス	IT マネジメント	プラット フォーム ソリューション	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	35,936	26,701	6,132	6,945	16,355	19,635	28,664	1,773
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	606	291	2,292	1,089	2,046	5,813	4,125	0
計	36,542	26,992	8,424	8,035	18,401	25,448	32,789	1,773
セグメント利益	2,641	2,594	746	437	951	2,208	1,836	210

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	380	142,524	—	142,524
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,329	17,594	△17,594	—
計	1,710	160,118	△17,594	142,524
セグメント利益	134	11,762	△620	11,141

(注) 1 セグメント利益の調整額△620百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。